

2015年3月期第2四半期 決算説明資料



アクリーティブ株式会社

【東証一部 8423】

I. 2015年3月期第2四半期 連結決算

	ページ
1. 2015年3月期第2四半期 連結決算	3
2. 債権取扱高・債権買取収益	4
3. 債権取扱高 業種別	5
4. 業務受託収益	6
5. 金融費用	7
6. 販売管理費	8
7. 営業利益・経常利益・四半期純利益	9
8. BSの概況	10

II. 営業状況及び下半期における取組み

	ページ
1. 当社事業の今後の取組みについて	12
2. 医療・介護分野における取組みについて	13
3. 新規事業について	14
4. タイにおける債権買取事業について	15
5. 海外における今後の事業展開について	16
6. 2015年3月期 業績予想 (2014.04.01～2015.03.31)	17

I . 2015年3月期第2四半期 連結決算状況

1. 2015年3月期第2四半期 連結決算

【PL概況】

(単位:百万円)

	2013.3 2Q	2014.3 2Q	2015.3 2Q	増減	前年同期比	(参考) 2015.3 通期予想
債権取扱高	66,890	77,454	85,401	7,947	110.3%	-
営業収益	1,343	1,431	1,547	115	108.1%	3,154
債権買取収益	817	892	908	15	101.8%	-
業務受託収益	460	486	579	92	119.1%	-
その他収益	65	52	59	6	112.6%	-
金融費用	152	105	84	△ 21	79.9%	-
金融費用率	11.4%	7.4%	5.4%	-	-	-
販売管理費	697	748	786	38	105.2%	-
販管費率	51.9%	52.2%	50.9%	-	-	-
営業利益	493	578	676	97	116.9%	1,276
営業利益率	36.7%	40.4%	43.7%	-	-	40.5%
経常利益	574	609	709	100	116.4%	1,300
経常利益率	42.8%	42.6%	45.9%	-	-	41.2%
四半期純利益	504	618	638	19	103.2%	1,232
四半期純利益率	37.6%	43.2%	41.3%	-	-	39.1%

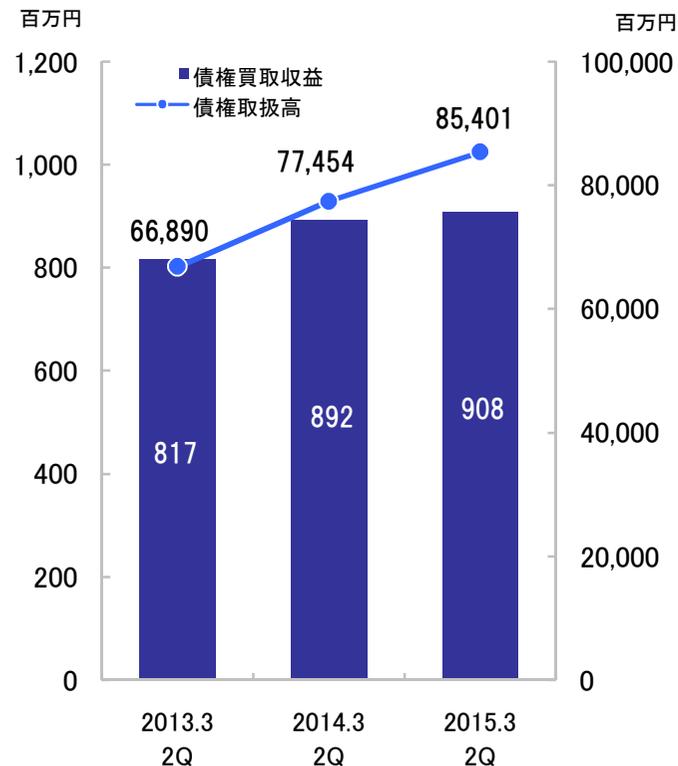
【BS概況】

(単位:百万円)

	2013.3	2014.3	2015.3 2Q	増減	前期末比
総資産	20,390	19,643	20,078	434	102.2%
負債	17,566	15,680	15,474	△ 206	98.7%
純資産	2,824	3,963	4,604	641	116.2%

2. 債権取扱高・債権買取収益

債権取扱高・債権買取収益推移



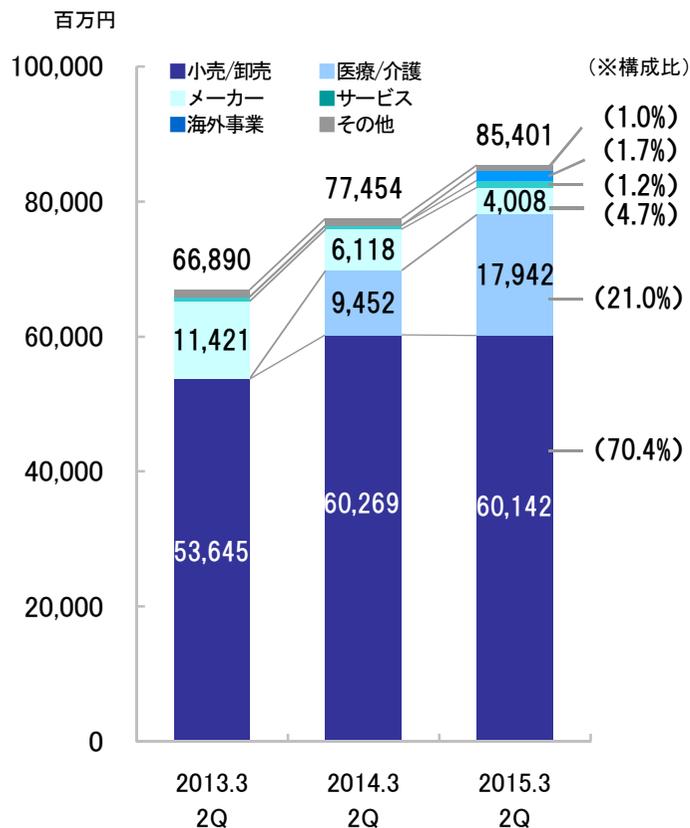
(単位:百万円)

	2013.3 2Q	2014.3 2Q	2015.3 2Q	増減	前年 同期比
債権取扱高	66,890	77,454	85,401	7,947	110.3%
債権買取収益	817	892	908	15	101.8%

- 医療・介護分野が大幅に増加し、全体での債権取扱高の増加に大きく寄与
- 消費税増税の影響を受け、小売業の債権取扱高及び債権買取収益が一時的に減少したものの、徐々に回復基調に

3. 債権取扱高 業種別

業種別 債権取扱高推移

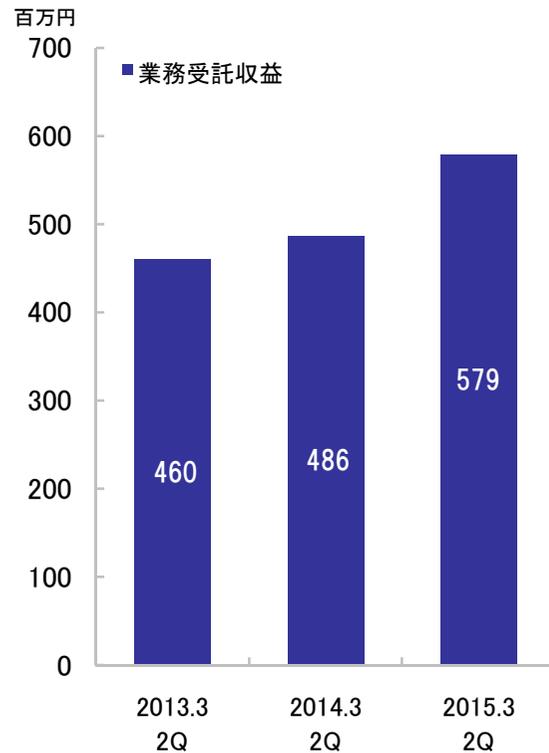


(単位:百万円)

	2013.3 2Q		2014.3 2Q		2015.3 2Q		増減	前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
債権取扱高	66,890	100.0%	77,454	100.0%	85,401	100.0%	7,947	110.3%
小売/卸売	53,645	80.2%	60,269	77.8%	60,142	70.4%	△ 126	99.8%
医療/介護	120	0.2%	9,452	12.2%	17,942	21.0%	8,490	189.8%
メーカー	11,421	17.1%	6,118	7.9%	4,008	4.7%	△ 2,110	65.5%
サービス	676	1.0%	543	0.7%	987	1.2%	443	181.6%
海外事業(タイ)	-	-	-	-	1,420	1.7%	1,420	-
その他	1,025	1.5%	1,069	1.4%	899	1.0%	△ 169	84.1%

4. 業務受託収益

業務受託収益推移



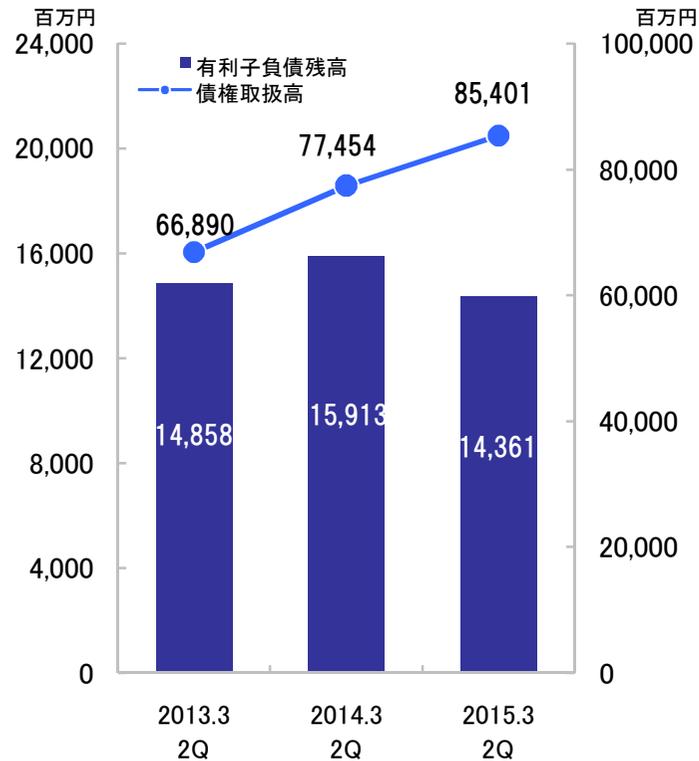
(単位: 百万円)

	2013.3 2Q	2014.3 2Q	2015.3 2Q	増減	前年 同期比
営業収益	1,343	1,431	1,547	115	108.1%
債権買取収益	817	892	908	15	101.8%
業務受託収益	460	486	579	92	119.1%
業務受託収益率	34.3%	34.0%	37.4%	-	-
その他収益	65	52	59	6	112.6%

- ▶ 既存提携先の取引高増加に伴う業務量の増加及び受託業務の範囲を拡大
- ▶ 新規事業としてレジオペレーション業務受託を開始し、収益が増加
- ▶ 結果、業務受託収益は前年同四半期比 119.1%

5. 金融費用

有利子負債残高推移



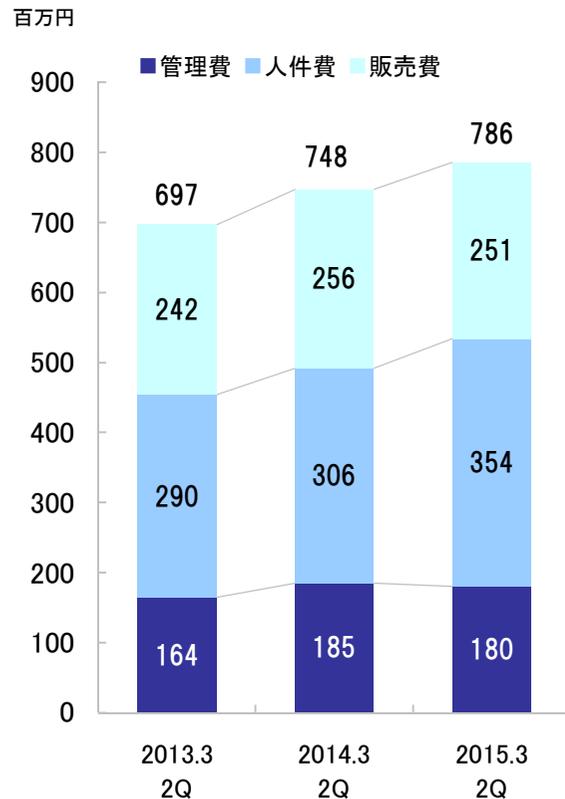
(単位:百万円)

	2013.3 2Q	2014.3 2Q	2015.3 2Q	増減	前年 同期比
債権取扱高	66,890	77,454	85,401	7,947	110.3%
営業収益	1,343	1,431	1,547	115	108.1%
金融費用・社債利息	152	113	90	△ 22	79.9%
有利子負債残高	14,858	15,913	14,361	△ 1,551	90.3%
金融費用・社債利息 営業収益	11.4%	7.9%	5.9%	-	-

- ▶ 効率的な資金運用により有利子負債残高は減少。営業収益に占める金融費用等の比率は大幅に減少し、5.9%
- ▶ 2年契約のシンジケートローンの導入や当座貸越枠の増額により、安定的で効率的な資金調達が可能体制が実現

6. 販売管理費

販売管理費推移



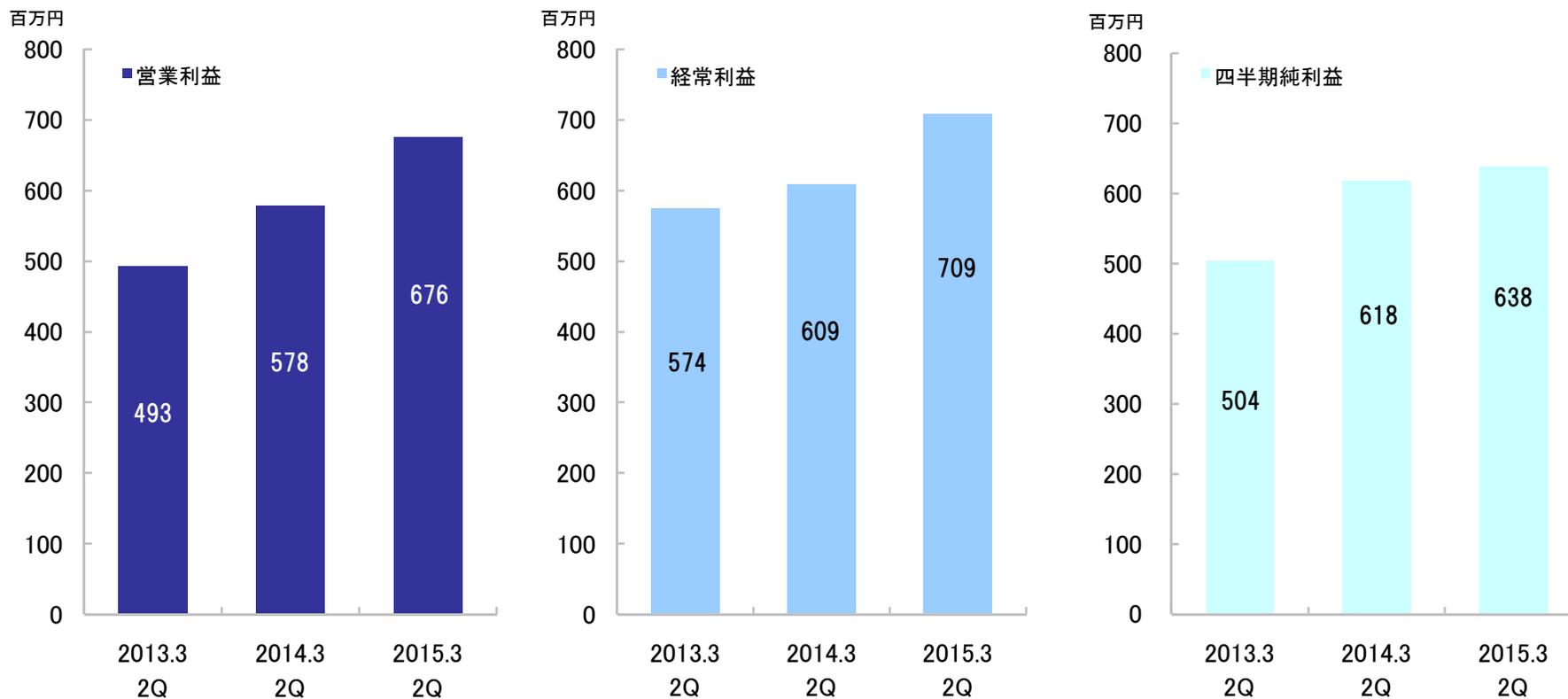
(単位:百万円)

	2013.3 2Q		2014.3 2Q		2015.3 2Q		増減	前年同期比
	対営業収益比		対営業収益比		対営業収益比			
営業収益	1,343	100.0%	1,431	100.0%	1,547	100.0%	115	108.1%
金融費用	152	11.4%	105	7.4%	84	5.4%	△ 21	79.9%
販売管理費合計	697	51.9%	748	55.7%	786	58.6%	38	105.2%
販売費	242	18.0%	256	19.1%	251	18.7%	△ 4	98.2%
人件費	290	21.6%	306	22.8%	354	26.4%	47	115.6%
管理費	164	12.3%	185	13.8%	180	13.5%	△ 4	97.7%
営業利益	493	36.7%	578	40.4%	676	43.7%	97	116.9%
社員(人)	61	-	74	-	100	-	26	135.1%
(全従業員(人))	202	-	232	-	252	-	20	108.6%

- レジオペレーション業務等の業務受託範囲の拡大に伴い、人員が大幅に増加
- 人件費は前年同四半期比 115.6%

7. 営業利益・経常利益・四半期純利益

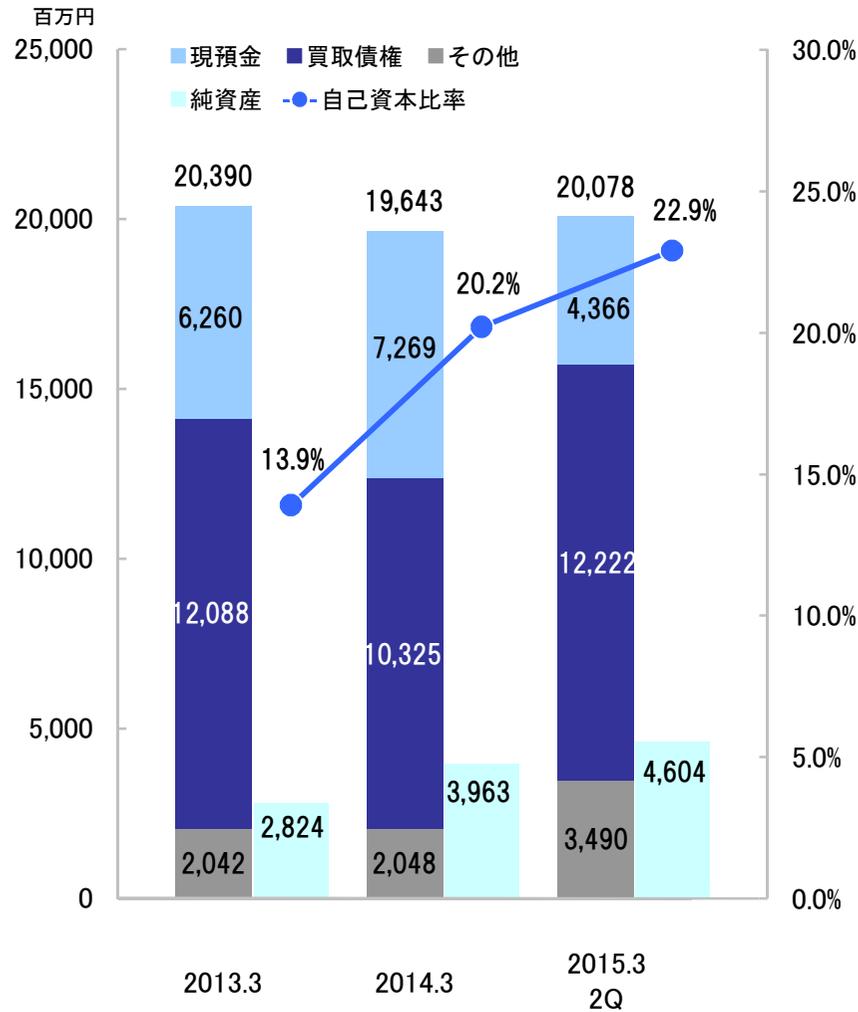
営業利益・経常利益・四半期純利益の推移



➤ 営業利益・経常利益、四半期純利益は堅調に推移

8. BSの概況

資産・純資産推移



(単位: 百万円)

	2013.3	2014.3	2015.3 2Q	増減	前期末比
総資産	20,390	19,643	20,078	434	102.2%
純資産	2,824	3,963	4,604	641	116.2%
自己資本比率	13.9%	20.2%	22.9%	-	-

- 利益の積上がりにより純資産は増加
- 結果、当四半期末自己資本比率は着実に上昇し、22.9%

Ⅱ. 営業状況及び下半期における取組み

1. 当社事業の今後の取組みについて

既存FPS事業

- 新規提携先獲得に向け、継続して営業を推進
- 既存提携先の成長とともに、納入企業の着実な取込みを図る

医療・介護分野

- 周辺企業との協業及び広告強化等、新規顧客開拓に注力

新規事業

- 小売店舗におけるレジオペレーション業務等のアウトソーシングサービスを開始（ストアークルーズ株式会社）
- 融資業務を取扱う子会社の新設（アクリーティブ・ファイナンス株式会社）

海外事業

- タイ事業は、採算ラインをクリア。今後は、既存ビジネスの深耕及び新たなビジネスラインの立上げを目指す
- 今後の海外展開としては、ASEAN地域にフォーカスし具体的な進出機会をうかがう

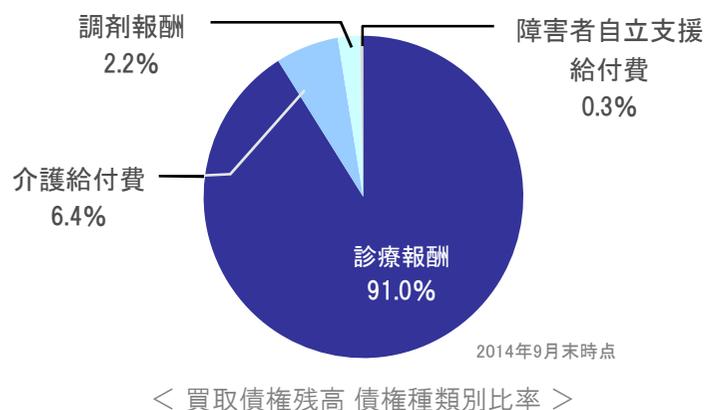
2. 医療・介護分野における取組みについて

買取債権残高の推移



- ▶ 診療報酬債権を中心として、順調に買取債権残高が増加
- ▶ Web媒体への広告掲載等を行うことで知名度が向上し、着実に新規顧客を獲得

新規営業の強化



- ▶ 介護分野における施策の一環として、介護事業者の周辺関連企業（介護給付費請求システム、人材紹介、事業コンサル等）との協業を継続して検討
- ▶ 医療・介護分野の幅広い新規開拓のため、調剤薬局チェーンへのアプローチも開始
- ▶ 既存顧客のフォロー強化及び新規顧客開拓のため、大阪に新拠点を開設予定

3. 新規事業について

レジオペレーション業務の受託

- ▶ アウトソーシングサービスの新規事業の一環として、グループ内におけるレジオペレーション業務の受託を開始
(ストアクルーズ株式会社、当社100%子会社、資本金3,250万円)
- ▶ オペレーションのノウハウを蓄積し、今後は他の流通小売業への拡大を目指す



ストアクルーズ(株)



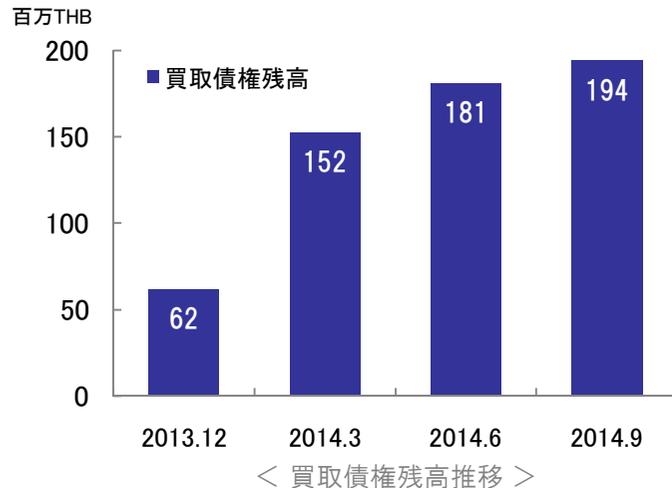
レジオペレーション業務の様子

融資業務の開始

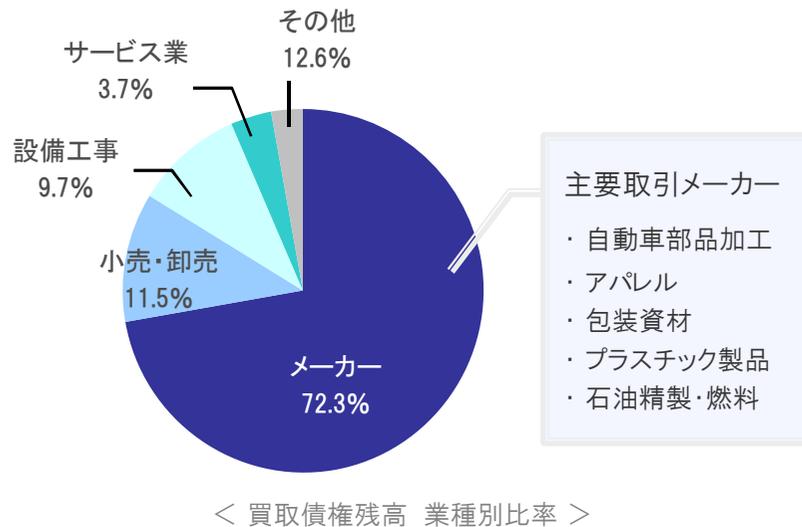
- ▶ グループ内に融資業務を専門に取扱う子会社を新設
(アクリーティブ・ファイナンス株式会社、当社100%子会社、資本金3,000万円)
- ▶ サービスラインナップの拡充により、顧客ファイナンスニーズへの柔軟な対応が可能となる

4. タイにおける債権買取事業について

アクリーティブ・タイランドの営業状況



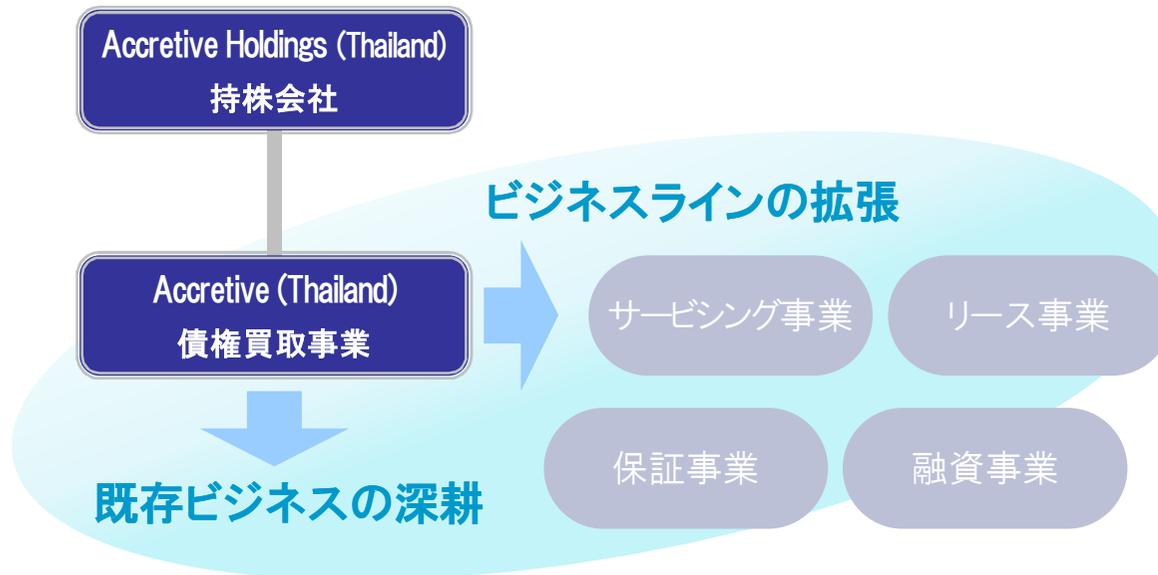
- 2013年9月の事業開始以降、買取債権残高を順調に積み増し
- 安定的な稼働により、月次ベースで採算ラインをクリア



- タイの主要産業であるメーカーが顧客の中心
- 一方で、様々な業種・業態と取引を行うことで適切なポートフォリオの形成を図る

5. 海外における今後の事業展開について

タイにおける新規サービスの提供に向けて



- ▶ タイ国内において、事業開始から現在までに金融ビジネスのノウハウを習得
- ▶ 現地企業とのリレーションが構築され、当社認知度が向上
- ▶ 債権買取以外のファイナンスニーズの取込みを積極的に検討

ASEAN地域における事業拡大

- ▶ ASEAN地域、アメリカにおいて市場調査を実施
- ▶ 直近においては、タイに続く進出国として、マレーシアにフォーカスし検討を開始
- ▶ タイ国内でのビジネス拡大を優先しつつ、具体的な参入のタイミングを図る



マレーシア：クアラルンプール

6. 2015年3月期 業績予想 (2014.04.01～2015.03.31)

業績予想

(単位:百万円)

	2013.3	2014.3	2015.3 通期予想	増減	前期比
営業収益	2,807	2,932	3,154	221	107.6%
営業利益	929	1,109	1,276	167	115.0%
経常利益	979	1,142	1,300	158	113.8%
当期純利益	853	1,177	1,232	55	104.7%
営業利益率	33.1%	37.8%	40.5%	-	-
配当 (円/株)	0.00	0.00	2.30	2.30	-

配当方針

- ▶ 2015年3月期は、業績の向上や財務体質の回復が進み、継続的に安定した配当を行う体制が整う見込みであることから、7期ぶりに復配を予定

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、

リスクと不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、

予想対比変化する可能性があることにご留意ください。

- 資料に関するお問合せ先
アクリーティブ株式会社 管理部
電話番号 03-3552-8701
E-mail ir@accretive.jp